

第1章 「子育て支援、児童の健全育成に関する活動の実態把握調査」 実施概要

1. 調査の目的

本調査は、単位民児協における子育て支援、児童健全育成等の活動実施状況を把握し、活動の実績を社会的にPRするとともに、民児協における活動促進に役立てることを目的に実施した。

2. 調査方法

- ①調査対象：全国の単位民児協
- ②対象者数：1,002 か所
- ③抽出方法：都道府県・指定都市ごとに単位民児協数、民生委員・児童委員数および人口規模を基準に、対象となる市区町村を抽出した。その市区町村民児協がさらに単位民児協を選定した。
なお、市区町村の抽出にあたっては、同時期に行なった調査2（「課題を抱える親子・家族への支援に関する連携・協働についての調査」）の対象市区町村と重複しないよう配慮した。
- ④調査方法：調査票は都道府県・指定都市民児協を経由して調査対象の単位民児協（会長）へ配布した。回収は郵送により行なった。
- ⑤調査期間：平成21年9月18日～10月31日

3. 回収状況

本調査の回収数は845件、回収率は84.3%であった。

図表 1-1-1 回収状況

配布数	1,002
回収数	845
回収率	84.3%

4. 調査実施体制

本調査の実施にあたり、全民児連児童委員活動推進部会に「民児協における子育て支援活動等状況調査作業委員会」を設置した。（委員名簿は109頁に掲載）

なお、調査実施・集計等に関わる業務は、全民児連の委託により財団法人日本総合研究所が行なった。

第2章 「子育て支援、児童の健全育成に関する活動の実態把握調査」 結果の概要

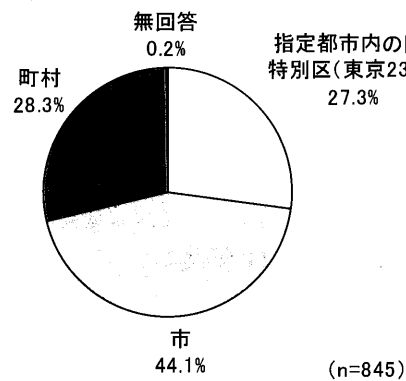
1. 子育て支援活動等の概要

(1) 基本属性

1) 単位民児協の所在地

本調査に回答いただいた単位民児協の所在地は、下表の通りである。

図表 1-2-1 単位民児協の所在地

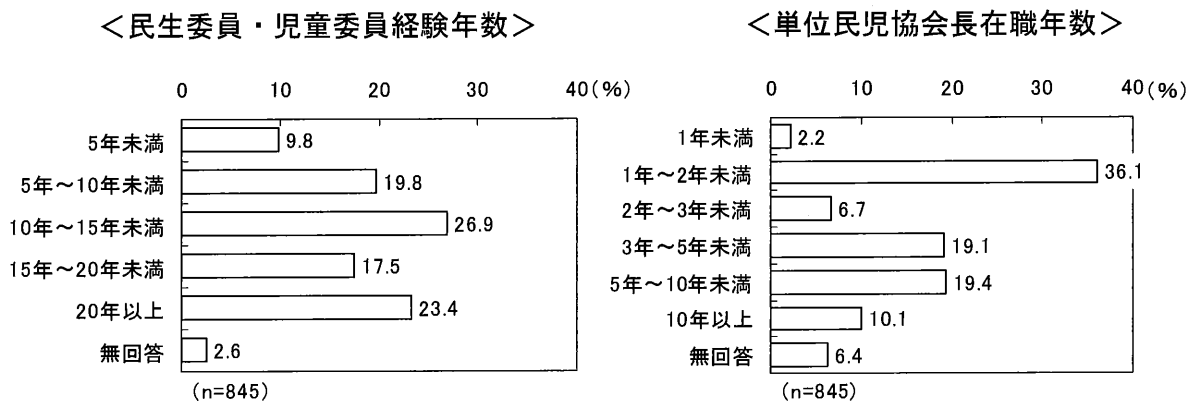


2) 単位民児協会長（回答者）の経験年数（平成21年9月1日現在）

単位民児協会長の民生委員・児童委員としての経験年数の分布をみると、「10年～15年未満」が26.9%、「20年以上」が23.4%となっている。

会長在職年数（通算）の分布では、「1年～2年未満」が36.1%で最も多くなっている。

図表 1-2-2 単位民児協会長の経験年数

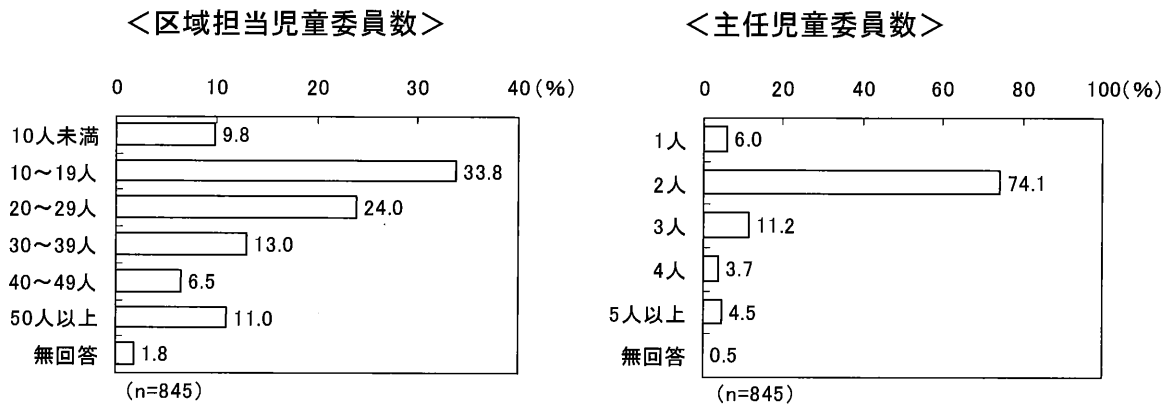


3) 児童委員・主任児童委員の数（現員数）（平成 21 年 9 月 1 日現在）

区域担当児童委員数の分布をみると「10～19人」が33.8%で最も多く、次いで「20～29人」が24.0%、「30～39人」が13.0%と続いている。

主任児童委員数の分布をみると「2人」が全体の約4分の3の74.1%を占めている。

図表 1-2-3 児童委員・主任児童委員の数

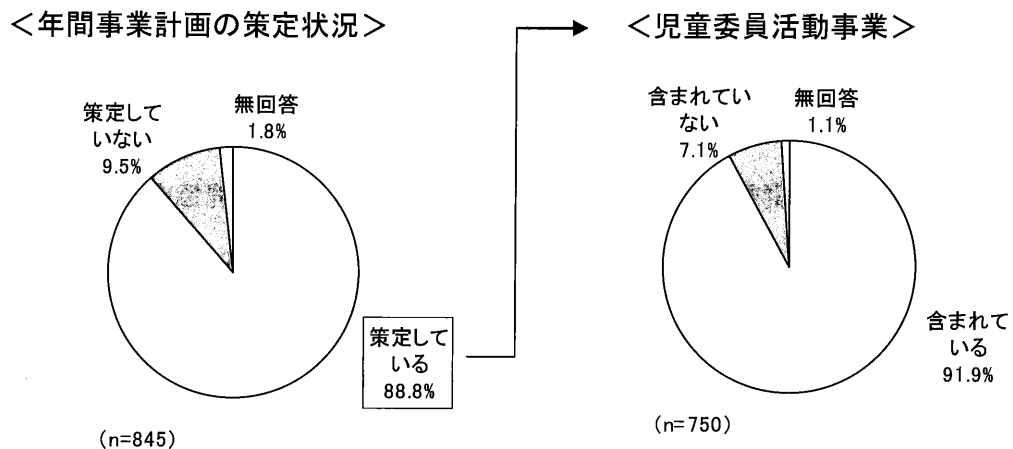


4) 年間事業計画の策定状況（平成 21 年度）

単位民児協としての年間事業計画を策定しているところは88.8%である。

さらに、年間事業計画を策定している単位民児協のうち91.9%は、その中に児童委員活動事業を含んでいる。つまり、児童委員活動事業を事業計画に含んでいる単位民児協は、全体の約8割となる。

図表 1-2-4 年間事業計画の策定状況



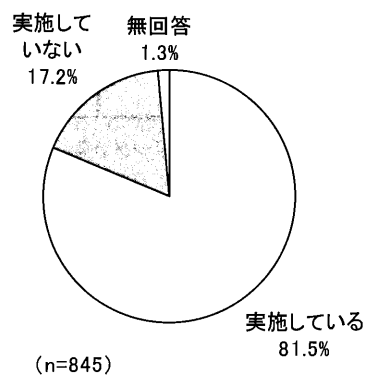
(2) 活動の実施状況

※単位民児協における子育て支援活動等の実施状況については、「単位民児協主催による活動」の他に、「他機関・団体との共催による活動」や「他機関・団体が主催して、単位民児協として参加・協力を行なった活動」も含む。

1) 現在の子育て支援活動等の実施状況

平成21年度(9月1日現在)の子育て支援活動等の実施状況は、「実施している」が全体の約8割を占める。

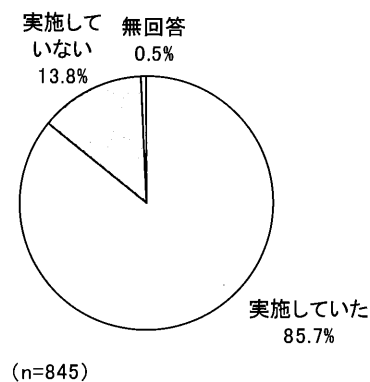
図表 1-2-5 子育て支援活動等の実施状況
(平成21年9月1日現在)



2) 過去の子育て支援活動等の実施状況

過去(平成20年度以前)の子育て支援活動等の実施状況は、「実施していた」が85.7%を占める。

図表 1-2-6 子育て支援活動等の実施状況
(平成20年度以前)



3) 現在と過去の子育て支援活動等の実施状況

前出の平成21年度(9月1日現在)と平成20年度以前の子育て支援活動等の実施状況を見ると、現在も過去も実施している単位民児協は全体の81.5%を占める一方、過去も現在も実施していない単位民児協が12.5%であった。

図表 1-2-7 現在と過去の実施状況

		子育て支援活動等実施の有無 〔平成21年度(9月1日現在)〕		
		回 答 数	い 実 施 し て	い 実 施 し て な い
子育て支援活動等 実施の有無 〔平成20年度以前〕	全体	832	82.8	17.2
	実施していた	717	81.5	4.7
	実施していない	115	1.3	12.5

※前頁1)と2)のそれぞれ無回答を除いた832件のデータで集計。

※単位%、回答数は実数。表中の割合は、回答数(832件)に対する割合を示す。

〔参考〕民児協組織として子育て支援活動等を過去(平成20年度以前)に実施していない理由(自由回答)

自由回答から、子育て支援活動等を実施していない理由を整理すると、「地域の中で他機関・団体がすでに取り組んでいる」、「個々の委員が対応している」、あるいは「地域に子育てに関するニーズがない」、「高齢者に関する問題への対応が中心」といった回答がみられた(主な理由は以下の通り)。

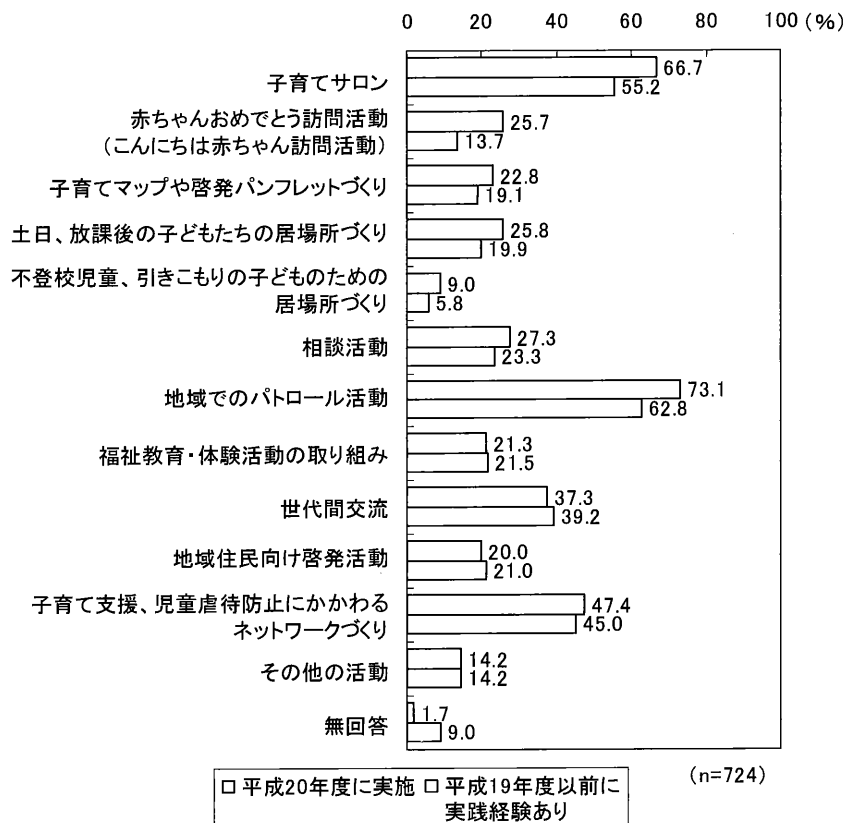
- ・他機関・団体が取り組んでいるから
- ・組織的にではなく、個々の委員が対応しているから
- ・地域の特性から、高齢者に関する問題への対応を中心に行なっているから
- ・地域の中で子育てに関する要望やニーズがないから
- ・組織が子育て支援活動等を実施できる体制にないから
- ・委員個々の時間的余裕がないから
- ・今後検討あるいは実施していく予定 など

4) 子育て支援活動等の実施状況（平成20年度および19年度以前）

①活動メニューごとの子育て支援活動等の実施状況（平成20年度および19年度以前）

平成20年度、平成19年度以前ともに、実施割合の高い活動は、第1位が「地域でのパトロール活動」、第2位が「子育てサロン」、第3位が「子育て支援、児童虐待防止に関わるネットワークづくり」であった。

図表 1-2-8 子育て支援活動等の実施状況〔複数回答〕



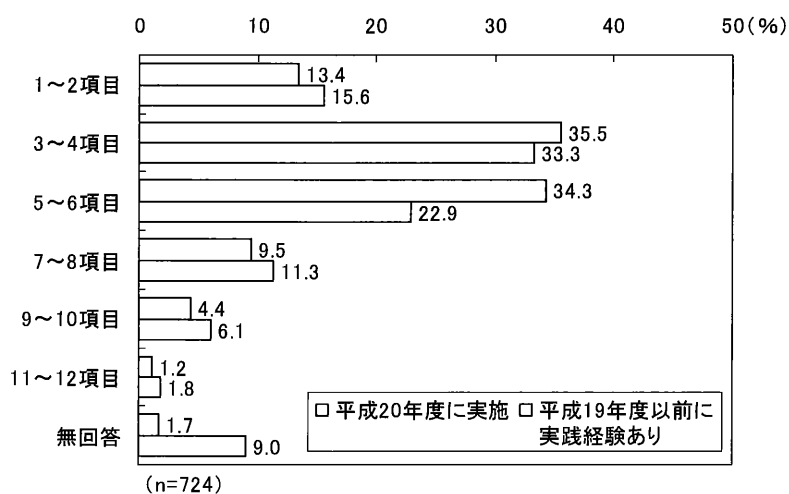
②子育て支援活動等の実施項目数（平成 20 年度および 19 年度以前）

前頁の 12 の子育て支援活動等に関して、1 単位民児協で実施している活動の内容別の数（ここでは項目数と表記）を集計した。

項目数の分布は、平成 19 年度以前、平成 20 年度ともに「3～4 項目」が 3 割強となっている。平成 20 年度では、「5～6 項目」も 3 割強の 34.6%であった。

1 単位民児協あたりの平均実施項目数をみると、平成 19 年度以前の 3.8 項目から平成 20 年度には 4.0 項目へ微増している。

図表 1-2-9 子育て支援活動等の実施項目数



平均： 3.8 項目 (平成 19 年度以前の実施項目数)

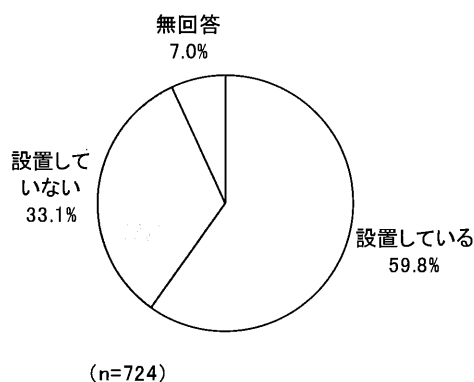
平均： 4.0 項目 (平成 20 年度の実施項目数)

(3) 活動の推進体制

1) 児童に関する部会等の設置状況

児童に関する部会等を「設置している」単位民児協は6割弱、一方「設置していない」は3割強であった。

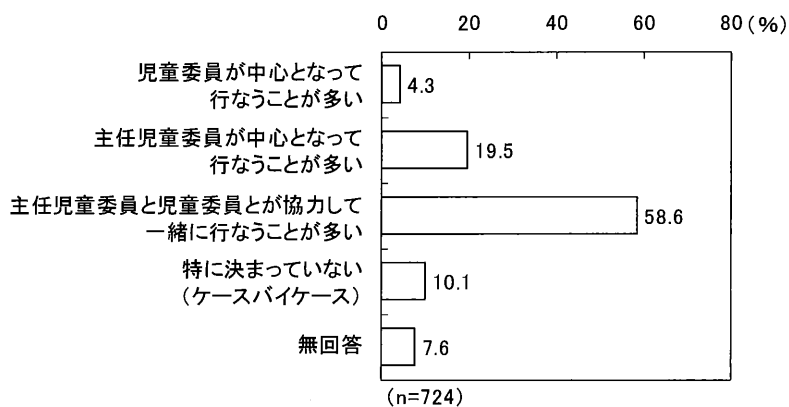
図表 1-2-10 児童に関する部会等の設置状況



2) 子育て支援活動等における児童委員と主任児童委員の役割分担

子育て支援活動等の取り組みにおける児童委員と主任児童委員の役割分担は、「主任児童委員と児童委員とが協力して一緒に行なうことが多い」が最も多く、全体の6割近くを占めている。その他、「主任児童委員が中心となつて行なうことが多い」が約2割、「特に決まっていない（ケースバイケース）」が1割ほどみられた。

図表 1-2-11 役割分担

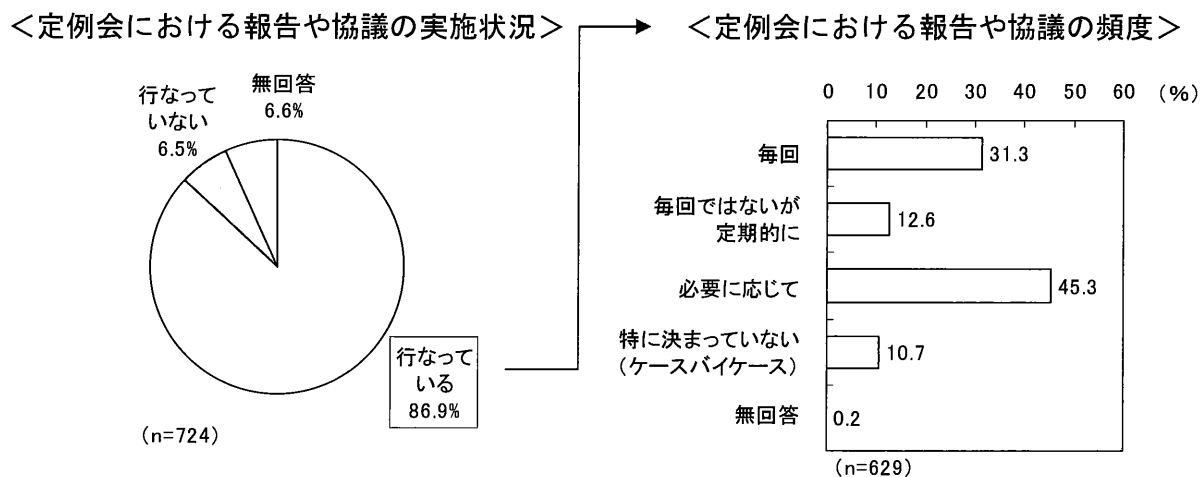


3) 子育て支援活動等に関する定例会での報告・協議

子育て支援活動等に関して、定例会において活動報告や対応策の協議等を行なっている単位民児協は 86.9%を占める。

そのうち、その活動報告や協議の頻度は、「必要に応じて」が最も多く 45.3%、次いで「毎回」が 31.3%、「毎回ではないが定期的に」が 12.6%と続いている。

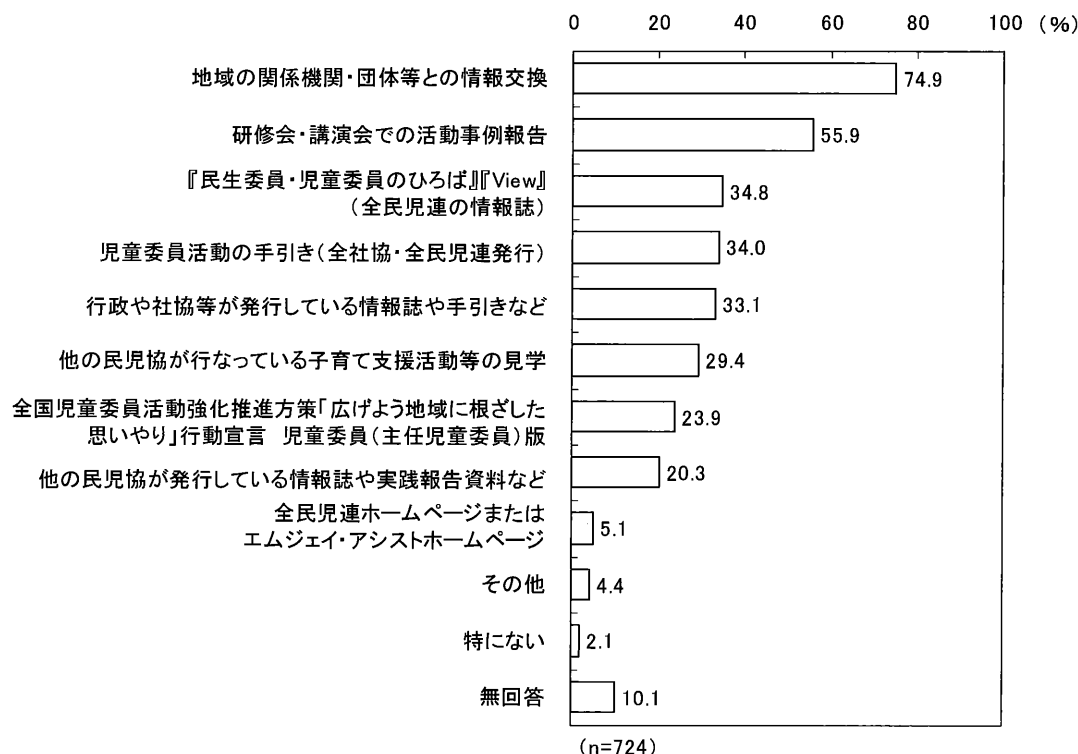
図表 1-2-12 定例会における活動報告や協議の状況



4) 子育て支援活動等の実施に関して参考となったこと・資料

単位民児協における子育て支援活動等の立ち上げや実施の継続にあたって参考となったことや資料は、「地域の関係機関・団体等との情報交換」が最も多く、74.9%を占めている。次いで「研修会・講演会での活動事例報告」が 55.9%と続いている。

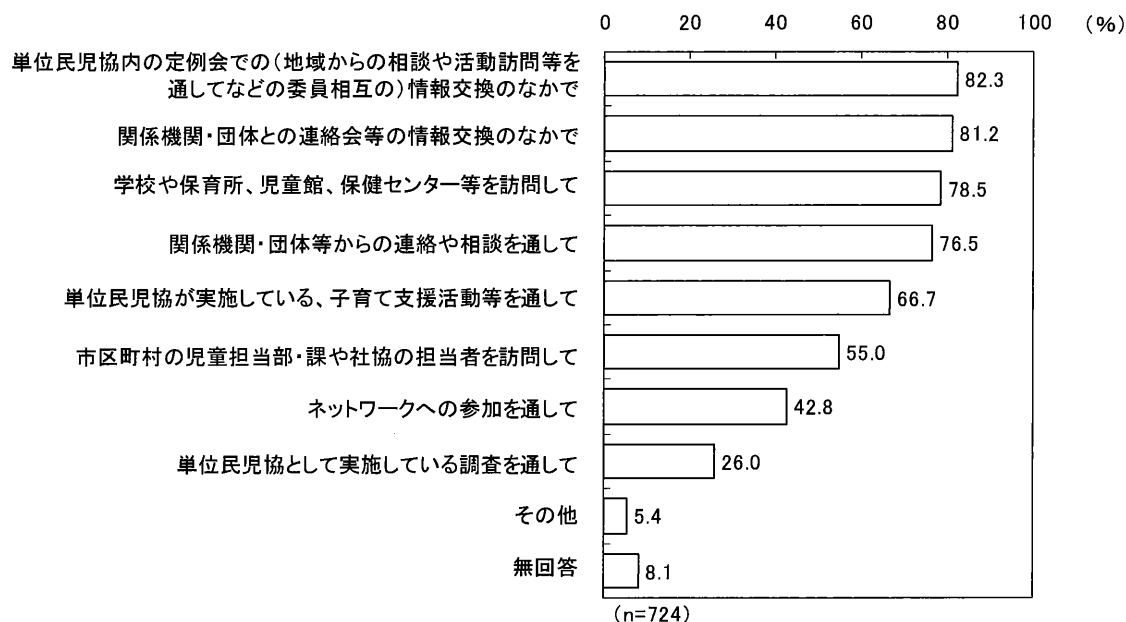
図表 1-2-13 活動実施にあたって参考となったことや資料〔複数回答〕



(4) 児童に関する地域課題の把握方法

地域の子育て・子育て支援環境や児童健全育成に関する課題の把握（情報収集）の方法については、「単位民児協内の定例会での情報交換のなかで」（82.3%）や「関係機関・団体との連絡会等の情報交換のなかで」（81.2%）、「学校や保育所、児童館、保健センター等への訪問を通して」（78.5%）、「関係機関・団体等からの連絡や相談を通して」（76.5%）などが多くあげられている。

図表 1-2-14 地域課題の把握方法〔複数回答〕

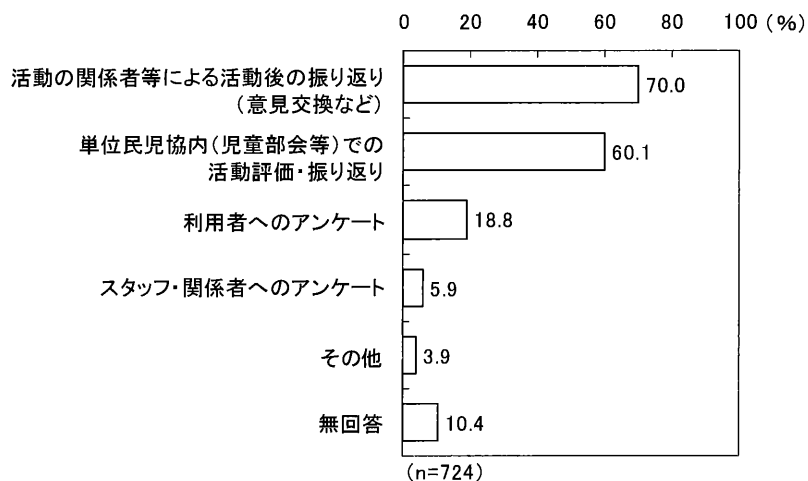


(5) 活動実施による成果と課題等

1) 子育て支援活動等の評価方法

実施した子育て支援活動等の評価の方法は、「活動の関係者等による活動後の振り返り」が最も多く、全体の7割を占めている。次いで「単位民児協内での活動評価・振り返り」が約6割となっている。

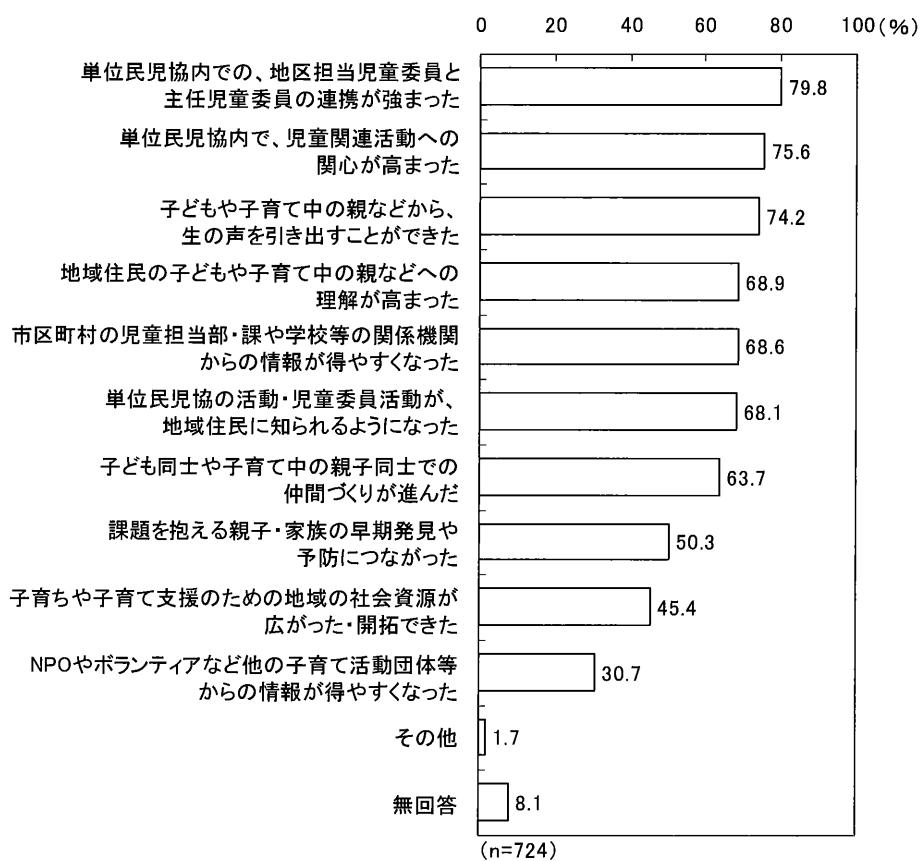
図表 1-2-15 子育て支援活動等の評価方法〔複数回答〕



2) 子育て支援活動等によって得られた成果

子育て支援活動等の実施により得られた成果としては、「単位民児協内での連携が強まった」が最も多く、全体の約8割を占めている。次いで、「単位民児協内で、児童関連活動への関心が高まった」と「子どもや子育て中の親などから、生の声を引き出すことができた」がそれぞれ約4分の3となっている。

図表 1-2-16 子育て支援活動等によって得られた成果〔複数回答〕



3) 子育て支援活動等の実施を通しての課題

子育て支援活動等の実施を通して感じている課題としては、「活動が早期発見や予防につながりにくい」が最も多く、全体の42.1%を占めている。次いで「活動内容が利用者の支援につながっているかわかりにくい」が37.7%と続いている。

図表 1-2-17 子育て支援活動等の実施を通しての課題〔複数回答〕

